寺報みょうとく

浄土真宗本願寺派妙徳寺
（安芸教区志和組）
発行責任　大江了証
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二―四二八―〇一四四

豪雨災害から一年

昨年の豪雨災害から1年が経ちました。雨が降るたび、または雨の予報が出るたびにあの時の情景が目に浮かびます。直接の被害にあわれたお方のお気持ちは一層のことと、お察し申し上げます。

今も各地で起こっている災害の様子を見るにつけ、あそこにも苦しみ悲しんでいらっしゃるお方がおられること、いつでもこのようなつらい出来事は起こりうるのだということに気づかされるようになりました。諸行無常とはかねてから聞かせていただいていたにもかかわらず、やはりどこかでうわ言、他人事のように私は受け止めていたのでしょうね。今までに身の上に起こらなかったことはこれからも起こらないという約束はなく、むしろ次の一瞬に何が起こるかわからない恐ろしさをますます抱えていくということなのでしょう。

七月十二日、中四国地方の五つの教区（山口、山陰、備後、四州、安芸）合同で「平成三十年七月豪雨災害一周忌法要」を広島別院で執り行いました。当日は京都からご門主様にもご参列いただいての法要でした。決して忘れてはならない悲しみをともにしながら、そこで立ち止まることなく乗り越えていくための大切な法要でありました。

あらためて何が起こるかわからない人生を、分からないままただ漫然と日送りしているのが凡夫の姿であったと知らされました。何か起こった時に驚き慌てふためいて、何かがおかしいこれは異常だ普通ではないと取り乱してしまう私の有様であります。むしろ、いまで何も起こらなかったとすればそのことのほうが不思議なことであって、いつ何が起こってもいい不思議ではないのだというのが仏の常の仰せでありました。ちっぽけな力ない迷いの凡夫であることを再確認、しかしたくさんのめぐみと願いとご恩をいただいておればこそ大切な我が身を、決して粗末にすることなく大切に扱わなくてはと思うのです。

お聴聞ではまさにここを聞かせていただきたいものであります。

三五〇人を超え満堂の中、ご門主様からお言葉をいただきました。

大きなお慈悲とは

「いのちが大事」とはよく言われますが、お経の中で仏はそのようなおっしゃり方はされてはおられないそうです。いのちとは何か、この難しい説明を詳しくされてはおられません。仏はもっと明確なことをお教えくださっているのです。それは「あなたが大事」だということであります。お経の中にある「十方の衆生よ」の呼びかけはどこかの不特定多数のいのちへの呼びかけではなく、「どこにいようとも私一人に向けられた呼び声なのだ」と聞かせていただくのです。あなたが大切なのです、あなたの力となり支えとなります、どこまでもあなたに寄りそう仏となりますとお誓いくださるのが仏様のお慈悲でありました。

ではあなたが大事と聞かされた上での凡夫の生き方とはどういうものでしょうか。仏のお慈悲をいただいた私とは、生き方が何か変わるものなのでしょうか。

あまやかして子どもを育ててはいけない、とある人がおっしゃいます。確かに子どもをいつまでも子ども扱いすることはその子のためにはならないでしょう。しかし乳幼児期の子にはしっかりと愛情を傾けるべきであります。受けるべき時に受けた愛情はその子の生きる力になります。そしてこの先かならずその子は、その愛情を周囲に注ぐことになるでしょう。

お慈悲という愛情は決して独り占めできるものでもそこに留まるものでもなく、常に周りに働きかけようとする力を備えています。お慈悲をよろこぶことができれば必ず自らお慈悲の人となり、周囲にお慈悲を伝える人となるのです。

ちっぽけな力ない迷いの凡夫であることを悲しみながらも、たくさんのめぐみと願いとご恩をいただいていること、この身からあふれ出んとする大きなお慈悲をいただいていることをよろこばせていただきたいものです。

一、自分だけを大事にすることなく／人と喜びや悲しみを分かち合います／慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき／日々に精一杯つとめます／人びとの救いに尽くす仏さまのように

（「私たちのちかい」より）

私がいただいているのは独り占めできるようなお慈悲ではありません。私の中に入り込んで私をいっぱいに満たした上で、さらに周囲に向かってこぼれ出していく、そのような大きなお慈悲に出会わせていただいているのです。この大きなお慈悲をたたえよろこばせていただく、そのようなお聴聞をさせていただきましょう。

妙徳寺護持会設立準備について

現在総代会の皆さんと妙徳寺護持会についての相談をし、設立に向けての準備を進めております。

今までお寺の法要法座などの行事やご家庭の仏事などでのお布施やお供え収入により、本山などへの賦課金納入、寺院活動の運営費や本堂建物の維持費を賄ってまいりました。何とかやりくりすることはできましたが、お寺行事への参加数やご家庭の仏事の減少傾向は著しく、次第に寺院運営に影響が出るようになりました。

一方で有縁の方からの「事情でお寺に参れないし仏事もすることはないのだけれど、できる協力はさせていただきたい」という申し出をいただくことがあり、ありがたく受け止めご協力いただく方法を考えたいと思っておりました。

これらの事情を踏まえ、総代会においてこの半年間にわたり護持会の概要を話し合い趣意書の内容を検討、本年の報恩講ごろを目標に妙徳寺有縁の皆様に向けてお願いを申し上げる予定としております。

どうかみなさまのご理解とご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

行事予定

ご不明な点はお問いあわせ下さい

盂蘭盆会（うらぼんえ）

八月　八日（木）午後一時、午後六時半
　　九日（金）午前九時、午後一時
※二日目午後のお参りは物故者追弔会を併修します

講師　呉市安浦町　信楽寺　広幡　康祐　師

八月　六日（火）午前八時から八時半

広島原爆忌

八月十五日（木）午前十一時半から正午

戦没者追悼法要

九月　十二日（木）午後一時、午後六時半
　　十三日（金）午前九時、午後一時
※一日目昼席の後、合同墓前のお参りをします

秋彼岸会（あきひがんえ）

講師　三原市大和町　明圓寺　内藤　良照　師

盆会の追弔会案内

お盆にはお亡くなりになられた方々のことが懐かしく思われます。

ご恩をいただいたお方にお礼を申し上げるには、ご家族であればご法事を営むところですが、ご近所や友人ではなかなかそういうわけにはいきません。最近は様々な事情により家族葬などが多くなり、親しい友人や近所でもお葬式に参列することができず、お礼を申す場が失われつつあります。

しかしお盆はご近所も友人もご家族と一緒に、亡きお方をお偲びできる特別な行事であります。家の区別なく仏間やお墓にお参りしあい、思い出を語りながら心を込めてお礼申す、そのようなお盆の営みを大切にされてきました。

妙徳寺の盆会二日目の昼席の法要は物故者追弔会としてお勤めいたします。ご遺族をご案内して友人知人で思い出とともに心おきなく気持ちよく、お礼申させていただきましょう。

6月3日の念仏奉仕団での記念写真。

妙徳寺
ホームページ

http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/

ホームページ内で行事予定を随時更新しています

http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/information

念仏奉仕団の報告

六月三日から五日までの二泊三日で志和組念仏奉仕団に参加し、京都本山の本願寺にお参りいたしました。今回は志和組全体で五十人、妙徳寺からの参加者が十人でした。雨も何とか持ちこたえての三日間、全員無事に過ごすことができました。ちょっと今回は寄り道が遠かったことが反省点でした。来年の計画に反映いたします。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

毎年実施しているこの奉仕団、年二回実施したこともあり今回が第七十七回目となりました。多回数参加では今回が三十七回目という方もおられます。これだけ回を重ねているところは他にはなかなかないのではないかと思います。

今回が初めてのお方も多数おられました。今後もたくさんのお同行さんにご参加いただける、ご本山参りの大切な機会であり続けたいと思います。

仏婦法座報告

四月二十八日、妙徳寺仏教婦人会の法座がにぎやかに開催されました。午前中は初参式、午後は会員物故者追弔会です。

初参式とは赤ちゃんの初参り、お父さんやお母さんに抱かれ、おじいちゃんやおばあちゃんを従えて、今年は九人の赤ちゃんがお参りくださいました。

どうか愛情とお慈悲をいっぱい感じて育っていただきたいと、切に念願しております。

妙徳寺仏教婦人会法座で初参式後、赤ちゃんとそのご家族で記念写真。

寺子屋の案内

今年も夏の寺子屋を予定しています。八月二十一日（水）を予定しています。二十四日予定としていましたが都合により変更となります。ご注意ください。

小学生をはじめ、大人の方でもご参加いただき一緒に楽しみたいと思います。ただ準備の都合により、事前に参加連絡をいただければと思います。八月十七日ごろまでにご連絡お願いします。

妙徳寺土曜学校　実施中

7月　13日（土）8：30～
　　27日（土）8：30～

こども寺子屋

8月　21日（水）
　　12：30～20：00

9月　14日（土）8：30～
　　28日（土）8：30～

対象　小学生
場所　妙徳寺本堂にて
持参　経本、念珠
日程　8：30　お参り、お話
　　9：00　ゲーム
　　10：00　おやつ
　　10：30　おわり

合同墓・墓地案内

有縁の皆さんでおまりします。合同墓と一般墓地がある合同墓とくさんのお方にご利用たいただけます。

志和組テレホン法話「みのりの電話」

４３３－４９８９（しじゅうさんざん、しくはっく）

7月　1日～	長松寺	笠岡淳一
7月 11日～	寿福寺	田中初美
7月 21日～	西方寺	安國真雄
8月　1日～	光源寺	堀　靖史
8月 11日～	浄蓮寺	沼田成子
8月 21日～	長松寺	中田輝道
9月　1日～	西蓮寺	西浦憲雄
9月 11日～	天龍寺	天野由紀子
9月 21日～	妙徳寺	大江了証

志和、八本松川上地区の本派寺院13ヵ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

「写経の会」開催予定日

7月　13日（土）午後2時より　／　26日（金）午後2時より
8月　31日（土）午後2時より　／　30日（金）午後2時より
9月　14日（土）午後2時より　／　27日（金）午後2時より

申し込みは 金曜日の部代表_西本さん(428-2466)、
土曜日の部代表_廣川さん(428-5935)または妙徳寺へご連絡下さい。

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日

7月　13日（土）午後7時から定例会
8月　21日（水）寺子屋のお手伝いをお願いします
9月　14日（土）午後7時より定例会
毎月第2土曜日午後7時開催を原則とします。

「おみのりサロン」開催予定日

7月　23日（火）午後2時より1時間半（『大乗』講読会と座談会など）
9月　20日（金）午後2時より1時間半（『大乗』講読会と座談会など）
10月　21日（月）午後2時より1時間半（『大乗』講読会と座談会など）

「お茶の会」開催予定日（参加者募集中、ご連絡ください）

8/17、9/28、午後2時より。以降の予定は電話かホームページで確認ください